

N1 第 44 课 个人与群体的协调（语法）

人間の集まりが、一つの方向に偏っているのは不吉だ。いろいろあっても、全体としてのバランスの程のよさが好ましい。

ところが、ひとりひとりが「バランスのとれた人間」になろうと、みんなが同じ姿勢をとりだと、その集団のなかにおいては気づかぬかもしぬが、外からは異様な偏った集団に見えてくる。

もともと、「バランスのとれた人間」なんてものが、本当にあるものかどうか、疑わしくもある。むしろ、ひとりひとりは、「それぞれに偏っていても、集まり全体としてみればバランスがとれている」、そのほうが理想だろう。

(森毅『気まぐれ数学のすすめ』青土社による)

人群往一个方向偏离是不吉利的。即便个体是各种各样的，作为全体要平衡才好。

但是，如果每一个人都要成为“保持平衡的人类”，大家都开始采取同一个姿态，那么即使在那个集团里可能注意不到，但是从外界来看（这个集团）就是异样的、不平衡的集团。本来是否有“保持平衡的人类”这点就值得怀疑。倒不如说，每一个人“即便每个个体都是不平衡的，但是如果作为一个集团，从整体来看的话却是平衡的”，这才是理想的状态吧。

语法

否定

1. 一ぬ

- * 解释：ぬ→ない的古语
- * 词性：形容词
- * 变形：前面的动词按照未然形变形/さ变动词变成せ

1. 見て見ぬふりをする、有耶無耶にする、それこそ無責任じやないか。

- * 看了以后装没看见，敷衍搪塞，这才是不负责任，不是吗？
- * ～ふりをする：(2)装作
- * 有耶無耶：(0, 名/形动)敷衍搪塞，不了了之
- * 無責任：(2, 名/形动)不负责任
- * 凄まじい：(4, 形)骇人听闻的；非常厉害和猛烈的；吓人的

2. 見知らぬ人に話しかけられた。

- * 不认识的人跟我搭讪了。
- * 見知らぬ人：(3)不认识的人

* 話^{はな}しかける: (5, 他下一) 搭讪, 搭话

3. この事件を通じて、尽きせぬ教訓と反省を改めて痛感した。

* 通过这个事件, 再一次痛感无尽的教训和反省。

* 尽きせぬ: (3, 形) 古语尽きす→现代语尽きる(2, 自上一) 无尽的

* 教訓: (0, 名) 教训

* 反省: (0, 名/他サ) 反省

* 改^{あらた}めて: (3, 副) 再一次, 重新

* 痛感: (0, 名/他サ) 沉痛地感到

2. 一ざる

* 解释: ざ(表示否定的副词ず)+る(的)

* 词性: 连体词

* 扩展: 1. 一ざるを得ない(不得不)

2. べからざる(べき的否定。不可~的)

* 变形: 前面的动词按照未然形变形/さ变动词变成せ

1. 彼の知られざる素顔が見えてほつとした。

* 看到他不为人知的真实的一面, 松了一口气。

* 知られざる: (4, 连体) 不为人知的

* 素顔: (1, 名) 素颜; 真实的一面

* ほつとする: (0, 自サ) 松了一口气

2. 私は人を見る目がないと言わざるを得ない。

* 不得不说我没有看人的眼力。

3. ここは神聖にして侵すべからざるところです。

* (这里) 是神圣而不可侵犯的地方。

* 神聖: (0, 名/形动) 神圣

* 侵^{おか}す: (2, 他五) 侵犯

3. 一まじき

* 解释: まじ(まい)+き(的)→べき的否定(不可～的)

* 词性: 连体词

* 接续: 动词的基本型+

1. 彼の言動は社会人としてあるまじきもので、到底許すことはできない。

* 他的言行是作为社会人来说不应该有的，绝对不能被允许和原谅。

* 言動: (0, 名)言行

* 社会人: (2, 名)社会中的一份子

* 到底: (0, 副) (后面接否定)无论如何也不

2. 患者のプライバシーを他人に漏らすなんて、医者としてあるまじきことだ。

* 把患者的隐私泄露给别人，这是作为医生不可有的行为。

* プライバシー: (2, 名/privacy)隐私

* 他人: (0, 名)别人；外人；毫无关系的人

* 漏らす: (0, 他五)漏；泄露；透露；漏掉

* 医者: (0, 名)医生

3. 言うまじきこと、やるまじきこととともに、自慢してはいけないと教えられてきた。

* 从小被教的是不应该说的话和不应该做的事，还有不能自满这一点。